

自己評価結果公表シート（令和3年度）

1、園の教育目標

- ①明るい元気な子どもに育てましょう。
- ②友達と仲良く遊べる子どもに育てましょう。
- ③何事も最後まで一生懸命する子どもに育てましょう。
- ④自分で考え、正しく行動する子どもに育てましょう。
- ⑤素直で健康な子どもに育てましょう。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己評価を実施し、教員が自ら客観的に自分を見る目を養い、カリキュラムの改善に取り組みます。
- ・年度末の保護者のアンケートを参考にし、教育・保育の向上に努め、施設整備を整えます。
- ・子どもひとりひとりの個性を認め、保護者や関係機関と連携を取りながら、心身ともに子ども達の健やかな成長の向上に努めます。
- ・保護者の悩みにも対応出来る体制を強化し、また個性のある子ども達への対応の仕方を相談する為にキンダーカウンセリングの取り組みを充実させます。
- ・外部講師による全園児対象の体操教室では、バランス感覚や柔軟性を含めた、さらなる身体能力向上を目指します。
- ・外部講師による年長児対象のECCでは、豊かな言語感覚を養うように努めていますが、日常の保育内容である朝の歌や、天気などにも英語を取り入れ、より英語を身近に感じられるように努めます。
- ・園外保育や園庭開放などを通じて、更なる地域との連携に努めます。
- ・日々の保育の様子や、園の取り組みなどは、毎月の園だよりや、学主だより、またHPなどで公開し子どもの育ちを理解して貰えるように努めます。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取り組み状況
指導計画について	<ul style="list-style-type: none">・新幼稚園教育要領に基づき、園の教育方針を理解し指導計画を作成していますが、環境構成を整え、子どもが主体的に考え行動出来るようにしました。・子どもの育ちを1番に考え、年間の指導計画に基づき、週案・月案を作成しました。・毎月学年担当全員で月案の打合せをし、改善点や実態を報告し合い共有しました。・満3歳児の指導計画を、具体例を参考に練り直しました。・新型コロナの感染対策にも積極的に取り組みました。
研修について	<ul style="list-style-type: none">・子どもの様子について話し合う時間を作り、職員間で共有し合い、客観的に子どもの姿を捉えるようにしました。・クラスの様子を伝え合う園内研修を毎月行いました。・キンダーカウンセラーの研修を受け、また定期的にクラスの様子もみて貰い対応についてアドバイスを貰い子ども理解を深めました。・外部研修がオンラインになる中、課題を持って積極的に研修等に参加し、専門性や保育技術、保育士としての資質向上に努めました。
体力向上について	<ul style="list-style-type: none">・外遊びの時間を増やし、学年で取り組むカリキュラムとしては、サーキット遊びを取り入れ、年齢に応じた運動能力や健康な身体作りに努めました。
地域との連携について	<ul style="list-style-type: none">・南木の本防災体育館まで散歩に行ったり、地域の人と触れ合う機会を作りました。

園の教育理念や教育内容の発信について	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児は龍華図書館に行き、自分の読みたい本を借りる。という事を友達と協同し取り組み、図書館で働く人と関わる機会を作りました。 ・行事は動画配信を行い、子ども達が友達と気持ちを一つにして取り組んでいる様子を保護者に見て貰うよう努めました。 ・園での感染症対策を手紙やメールで知らせ、安心して預けて貰えるように努めました。
--------------------	--

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>職員全員で自由に意見交換が出来る環境を作り、課題として取り組む内容について話し合いました。本園の方針を鑑み、今後未来を担う子ども達が必要とする力を身につける為のアプローチを実践する事が出来ました。</p> <p>コロナ禍になり2年が経ちました。感染を防止する為に消毒の徹底、マスクの着用、密にならないように環境を整える等、去年に引き続き細心の注意を払いました。ただ、昨年度コロナ禍での園運営を経験したにも関わらず、戸惑う事の多い一年でした。感染力の強いオミクロン株が猛威を奮い、園児、保護者が次々とコロナ陽性になり、毎日のように鳴る電話に怯える毎日でした。職員もコロナ陽性や濃厚接触者になり、何人も自宅待機をする時もありました。欠席者が多い中で行事をどのように行うのがいいのか、子ども達も保護者も楽しみにしておられる気持ちを考え、場所を変え、日程を変え試行錯誤しながら行いました。卒園式もコロナ陽性になり出席出来ない子どもが数名いました。年長の担任3人もコロナ陽性になるという状況での卒園式でした。そのため、卒園式を別日にもう1度し、年長児全員の子ども達の門出を執り行う事が出来ました。</p> <p>年度末の保護者アンケートでは、園の対応に対して、たくさんの保護者から励ましや感謝の言葉を頂きました。常に意見を出し合いながら、出来る事、出来ない事、工夫して出来る事など職員全員で考えながら進んできましたが、悩みながら進めてきた事が、子ども達にとって最善であり、保護者からも支持して貰えた事が、職員全員の自信に繋がりました。</p>

5、今後取り組むべき課題

園の環境構成について	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の身体能力を高め、友達と協力し、想像しながら遊びを深めていけるよう屋外室内ともに環境構成に努めます。 ・室内遊びを充実させるために、コーナー遊びの環境を整えます。 ・防犯の観点から電気錠を取り付けましたが、引き続き安心安全に努めます。
教員の研修や教育課程について	<ul style="list-style-type: none"> ・変化の激しい時代に対応出来る力を身につけ、毎日の経験を通じて、想像力、表現力、問題解決力・自立心が育つように指導計画の見直しに努めます。 ・カウンセラーの育児相談や、子どもへの関わり方の指導助言を幅広く受けられるような体制を引き続き整える事に努めます。 ・手紙だけでなく、HPの動画配信、写真などを活用し、保護者に園の保育内容を伝えていく事に努めます。

6、学校関係者の評価

<p>日々反省をし、連絡し合い、常に改善点を見つけ取り組んでいる。特に指摘する点は見当たらない。以上の事から、園運営は妥当だと思われまます。</p>
--

7、財務状況

<p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められます。</p>
